

ふるさと古賀の味の伝承と農業の新たな価値創造のために、地域おこし協力隊員を新たに任命

令和5年1月、地域おこし協力隊員（ふるさとの味伝承支援事業員）として^{かんとりのりこ}関東憲子さんが新たに任命されました。

関東さんは、「まんま実～や」*が受け継いできた故郷の味を伝承しながら、古賀産の農産物で閉塞市場をこじ開けるべく、千葉県市川市から夫婦で移住を決意。農業未経験の2人が古賀生活を楽しみながら、新たな特産品開発に乗り出します。

※古賀市のふるさとの味の次代への継承や、農産物の加工などに精力的に活動してきた女性農業者グループ。メンバーの高齢化やコロナ禍の収入減の影響で令和2年12月に解散、12年の歴史に幕を閉じた。現在は規模を縮小し、少数メンバーで古賀市青柳の加工所でジャムやお菓子などの製造販売を行っている。

■地域おこし協力隊員の詳細

【氏名】^{かんとりのりこ}関東 憲子

【任用期間】令和5年1月1日から最長3年間

【勤務地】古賀市役所及び市内農産加工所（古賀市青柳）

【活動内容】農産物の加工製造業務・農作物を利用した特産品等の開発、提案
農産物や農産加工品の販売支援（無人販売所の設置等）ほか



■協力隊員からのメッセージ

大阪生まれ大阪育ち。10年前まで一般企業に勤めていましたが、夫の転勤に伴い大阪から福岡県（福岡市内や北九州市）や千葉県へ。この度、地域おこし協力隊として夫婦で千葉県市川市から古賀市に引っ越してきました。

農業や農産物加工の経験は全くありませんが、農作業や収穫のお手伝いを通じて古賀での生活を楽しむことから特産品となるようなものを生産者の皆さんと生み出せたらなと考えています。

■実施内容

「農村加工所まんま実～や」の元メンバーたちと農産物加工・販売所の業務に携わりながら、これまで培われてきた加工技術等を習得し、地元農産物を活用した特産品開発や販路拡大の活動に取り組んでいきます。

【問い合わせ先】

古賀市役所 農林振興課農政係 担当：中田・大渡
電話：092-942-1120